

社内報 8 月号

株式会社NITTOH

事務所の改装

各事務所の改装を続けていますが、今回は、奈良営業所とセブンハウスを紹介합니다。奈良営業所は、リフォーム展示場を作り、イベントも何度か実施いたしました。この度、デアール奈良店として、気持ちも新たに新規オープンします。8月4日、5日とデアール店として最初のイベントを開催予定です。古い倉庫に徐々に手を加え、きれいになってきました。今回も社員自前で施工し、金額的にもとても安くできました。奈良らしい、木材の風合いの外観になりました。夜にライトアップして赤提灯を下げると、居酒屋風ではありますが、とてもいい感じです。



▲ 改装前



▲ 改装後

奈良営業所

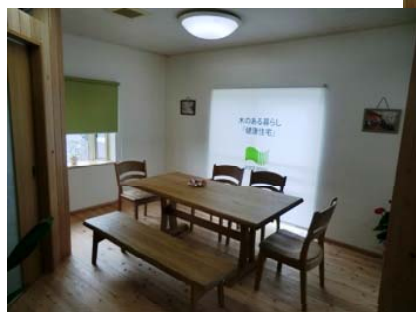
セブンハウスも、外装のリフォームに続き、内装もリフォームしました。無垢材に囲まれた落ち着いた商談スペースが出来上がりました。リフォーム前後の写真を見比べると全く印象が違います。家は夢を売る商売ですから、きれいな落ち着いた商談スペースで、これから出来あがるマイホームに思いをよせて、いい家づくり、幸せな新生活に向けて、夢をかなえるいい話ができそうです。屋外看板のリフォーム前後の写真もご覧ください。同じ看板をほぼ同じ場所につけているのですが、印象は随分違います。わたしたちもリフォームを仕事にしていますが、リフォームはとても大きな力がありますね。



◀ 打ち合わせ場所 改装前



改装後



◀ 打ち合わせコーナー



▲ リフォーム前



看板

▲ リフォーム後

また、事務所は、日頃の管理状況で印象が全く変わります。エンドユーザー向けの事務所だけでなく、法人様向けの事務所も、事務所は会社の顔と考え、お客様に常に見られ、評価されていると肝に銘じておくべきです。車や身なりも同じことですが、きちんと清掃され、管理されているかで、会社の姿勢、教育水準を感じ、仕事も同様と考えます。夏は、草むしりや、打ち水をしてあるかとか、夏らしい飾り付けがされているかとか、そういうところに、気配りや、マメさを感じます。協力業者さんや資材会社さんに対しても影響を及ぼします。協力業者さんに、しっかりあいさつをして、きれいな服装をしてもらいたいと思うなら、当社の事務所、倉庫をきれいに整理整頓し、車もきれいにし、産廃置き場も整然ときれいにしておくことです。おのずとその場所に入出入りする人の質も変わってくるものです。

セブンハウスで 20 周年お客様感謝祭

セブンハウスが 20 周年を迎え、事務所の改装が完成したこともあり、今まで引渡しを行ったオーナー様を招いてのお客様感謝祭を 7 月 14 日、15 日の両日に行いました。お客様連れのお客様も多く、流しそうめんや風船つりも楽しんでいただきました。太陽光発電への関心も高く、熱心に話を聞いていかれるお客様が多くおられました。今後もオーナー様が満足して住んでいただけるよう、会社との距離を近づけ、お気軽に声をかけていただけるような活動を続ける予定です。



暑い夏を乗り切ろう

とても暑い日が続いていますが、グループ会社も含め、社員、協力会社さん一同、皆とても頑張っています。まだまだ、暑い日が続きます。暑い夏を乗り切るにはやはり体力が一番。皆さん、気をつけていることと思いますが、今一度、注意点を。

1. 規則正しい生活。睡眠をしっかりとる。
2. 暴飲暴食は控える。下痢は最悪。
3. 水分をこまめにとるなど、体温が上がりすぎないように気をつける。
4. 水分に加えて、塩分もこまめにとる。空腹になりすぎない。
5. 風呂は温度を下げて、体温を下げる。
6. 直射日光は、避ける。暑いからと肌を出しすぎない。

夏を闘う高校球児のように、しっかり体調管理をして、素晴らしい夏になるように頑張りましょう。

コラム「偕に楽しむ」(ともにたのしむ)

幕末に攘夷の総本山といわれた水戸藩主徳川齊昭が造った庭園を「偕楽園」というが、この庭園名は、「偕に楽しむ」という中国の故事から来ている。周の文王の楽しみ方は、宮廷内の庭の台地や鳥獣を楽しんだわけではなく、民衆がそれを造ることを楽しむのを見て楽しんだのである。つまり、民衆が仕事に喜びを感じている光景に胸を打たれていた。民の方も、別に庭の台地や鳥獣を楽しんでいたわけではなく、文王が自分たちを見て喜んでおられる姿を見て、楽しみを共有していた。一方、夏の傑王は、宮廷内の庭の台地や鳥獣そのものを楽しんだのであって、民衆と楽しみをともにしたわけではない。こういう楽しみ方を「独り楽しむ」(ひとりたのしむ)という。人間の楽しみ方は、この「独り楽しむ」グループと、「偕に楽しむ」グループに大きく分けられる。

話は変わるが、本田技研工業創業者の本田宗一郎は、「私は人のた

めには仕事はしない。自分のために仕事をするんだ。」と言っていた。そして、宗一郎は、ホンダのモットーとして「3つの喜び」という言葉を言いだした。「造って喜び、売って喜び、買って喜び」というものである。宗一郎が言いたかったことは、仕事という、宗一郎にとって最も大切かつ神聖な局面では、妥協をせず、自分の全身全霊を打ち込み、自分のために仕事をする。しかし、仕事の結果としては、人を喜ばせるようなものでありたい。顧客という「最後の審判」の喜びという栄冠をもらえないような仕事は無意味だと考えていた。だから、人のために我慢してイヤな仕事をやってあげているというような態度は欺瞞であり、とてもきらいであっ

たのだ。宗一郎は、仕事に没頭し、それ自体に喜びを感じ、自分でもそれを理解し、感謝していた。そして、宗一郎は、晩年、会社を引退した後、「全員に」お礼を言うために、全国 700 カ所以上のほぼすべての事業所を 1 年半かけて周った。目立たないところで仕事をしていている裏方さんへの彼らしい感謝の表現であった。彼の心は、常に社員はじめ、周りの人と偕にあったのである。

今、オリンピックが行われている。両親をはじめ、支えてくれた多くの人たちへの感謝の気持ちが多く語られる。偕に喜べる人がいることが、喜びを何倍にも膨らませ、また我々の感動を呼ぶ。

営業所だより

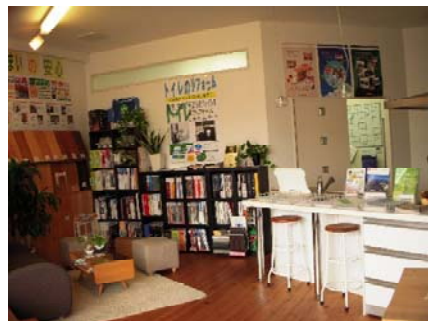
テアール名古屋東店の紹介

8月の営業所だよりはテアール名古屋東店が担当します。

梅雨が明け暑くなってきました。早いもので直営店舗展開の先駆け、テアール一号店としてオープンし4周年を迎えました。直受を伸ばすという使命の基、社員は営業2名、事務1名、アフターメンテナンス1名の計4名です。エリアは立地の尾張旭市、隣市の瀬戸・長久手・名古屋市守山区・名東区です。

一昨年从小牧・春日井・日進・豊明エリアも加わり、今年5月からは【カーマ日進竹の山店リフォーム相談コーナー】に窓口ができ、依頼件数も当初より倍以上に増えています。建物は他店と違い賃貸で、名古屋ドームから東へ国道363号沿いにある店舗付マンションの1Fです。5店舗のうち東から2番目、郵便局のあるビルです。店舗前は消防法で車の乗り入れが出来ませんが、クリーニング店と郵便局に来るお客様は多いので、小さな店舗ですが入りやすい、きれいな店舗を心掛けています。

キッチン・トイレは体験可能ですし、使い勝手もお客様にダイレクトに話せます。床は無垢の杉フローリングで4年目を迎え、アメ色の落ち着いた色合いになってきました。オープン時のスタッフの努力で、狭いながらもレイアウトが良いので、打合せやミニイベントではホッとくつろげる空間になっています。今後もミニイベント・相談コーナーを窓口地に元密着の愛される店舗を目指していきたいと思っています。



ちょっと一言

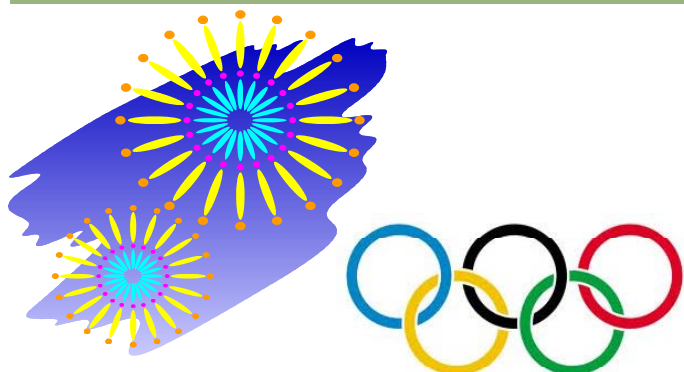
「私の熱中症体験」

北陸営業所

大谷 一宏



7月初旬、セミの鳴き声が営業所の斜向いの公園から聞こえ始めた頃、私は熱中症を体験しました。それは最高気温が30℃を超え始めて2日目の事です。当日は真夏日が予報されており、水筒を用意して作業に臨みました。開始当初、現場でトラブルがあり時間をロスした私は、遅れを取り戻そうと作業を続けました。作業中は暑さを感じてはいましたが、一区切りつくまでの思いや、遅れによる焦り、体に異常を感じていないからまだ大丈夫などと考えながら水分補給を先延ばしにしてしまったのです。お昼すぎ、ようやく作業も一区切りついて水分を補給後休憩。依然体調に問題を感じる事もなく午後の作業を開始して、1時間ほど過ぎて暑さもピークを迎える頃、突然私の右足にずるどい痛みが走り始めました。すぐに熱中症と判断し作業を中止。水分補給しながら休憩していると、じきに痛みは引いていきました。(後で調べましたが熱けいれんという症状で軽度の熱中症のようですね。大量に汗をかいた後、水分だけを補給していると塩分が失われ、血液の塩分濃度が下がったとき、筋肉に痙攣が起きるようです。)熱中症対策には水だけでなく、塩分も重要なことをご存知のとおりですが、当時は梅雨明けもしておらず、まだ本格的な夏ではないとあなどっておりました。今現在、夏も本番を迎え暑さもうなぎのぼりです。北陸営業所の受付カウンターの上には、お客様や協力店さんや所員が自由につまめる塩飴を用意して熱中症への備えとしております。まだまだ暑い日が続きますが、しっかり食事や睡眠をとって、この夏を元気に乗り切りましょう。



★Happy News★

お誕生おめでとうございます

★三河営業所3課 櫻木係長
男児誕生